

生協労働者の実態と要求実現のたたかい

生協労連 北口明代委員長に聞く

組合員6万5千人の7割を非正規雇用の労働者が占める全国生協労働組合連合会。労働者の生活実態や待遇改善とたたかいについて、「全国の会」の木口力事務局長が、東京・渋谷の同労連を訪問、北口明代委員長に話をうかがいました。

木口 連日の労働者の要求実現、安倍強権内閣打倒のたたかい、ご苦労様です。まずは実態を知るために毎年、大規模な「生活実感アンケート」を実施していると聞きました。

◆**生活実感調査を実施**
北口 春闘の準備のために昨春秋から年末まで、組合に入っていない人も含めて要求を調査しました。3万3792人から回答を得ました。今の職場の状況を一定反映していると思っています。



北口委員長（左）にインタビューする木口事務局長

◆**高い賃上げ要求**
要求で高いのは賃上げです。月給者の賃上げ要求は2万3512円、時間給者で104・0円で昨年を上回っています。月給者は2003年以降、時間給者は1996年以降もっとも高い金額となっています。

生活の厳しさの反映です。

「不払い労働」はこの5、6年の間に着実に改善が進んでいます。「不払いがない」と答えた人は70・3%であったのが、ことしは79・1%でした。正規の働き方ということではこの要求が一番強いので取り組みを強めてきた結果、少し前進してきたと思っています。

「生活実態について」では、非正規雇用で働く世帯の実態、また長時間労働と「人手不足」の実態、そして若手の組合員の状況を調べました。

◆**年収は減少傾向**
まず全体ですが「年収」については、減少傾向にあります。「減った人」が24・5%、「増えた人」は22・6%でした。「生活が苦しい」と答えた人は2割で少し減少していますが、「やや苦しい」と答えた人を合わせると

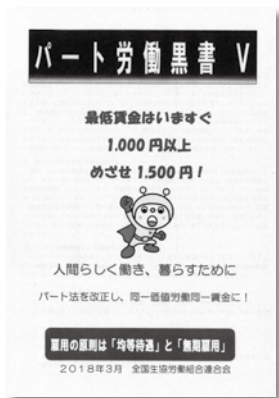
約6割になります。ここでも生活実態が厳しくなっていることが示されています。

当組合の特徴として、月給者と時間給者、時間給者で社会保険に入っている人、いない人などさまざまな状態の人が混在しています。

このなかで、とくに社会保険に入っている時間給者のところが、「苦しい」とか「やや苦しい」との答えが多くなっています。

年代別でみると生活が最も苦しいと答えている世代は40代後半で、子どもの教育費がかかる時期です。

◆**「非正規」収入世帯が4分の1**
「非正規雇用の世帯」の実情では社会保険に加入している時間給者37・2%、加入していない時間給者の23・2%が、世帯収入のすべてを非正規雇用の労働者で支えている「非正規世帯」です。つまり生協労働者の約4人に1人が非正規雇用の労働者のみの収入で家計を支えていると推定しています。要求としては、子どもの養育費の負担が大きい、職場での不満は賃金、労働条件の格差



が大きいということですが

一方、経年変化でみると、夫が正規雇用で、妻が短時間で働くパートといういわゆる家族モデル的な人たちは10年前は75%ぐらいでしたが、今は半分以下になっています。共働きのや、非正規同士でまかなっている人が増えていると思っています。

◆人手不足が深刻に

「人手不足」については、依然、不満が強いです。長時間労働の改善が月給者の切実な要求になっています。月30時間以上残業している人は、賃金の問題よりも「労働時間を何とかしろ」という声が強く、「不払い」も改善はしているものの不満はまだあります。「有休もとれない」という状況があります。

若手の組合員の状況ですが、疲労度を聞いたところ、月給者のところが強いですね。仕事が若い人に振られていることの反映かなと感じます。

◆「展望」をもつには

仕事や生協運動についての「展望」についての質問は、このアンケートの特徴の一つなのですが、「展望ある」「展望ない」「働き続ける」「やめたい」の4つを聞いています。「展望」がないけど、「働き続ける」という回答が多いのは職場のモチベーション（意欲）が低いという状況だと思えます。「展望」を持ち続けて「働き続けたい」というのが高いところは、比較的風通しの良い職場だと言われています。

憲法9条を改定すべきかどうかというのを聞いていまして、「改定すべきでない」が40%です。「すべきだ」は10%程度です。9条については引き続き学習を強める必要があります。木口 ところでパート労働者の実態を告発した「黒書」（写真）を発行しておられるとのことですが紹介してください。

◆黒書で実態告発

北口 「パート労働黒書」ですが、これは5年目になります。とくにシングルマザーとか、若手の人ですとか、男性も増えていきますので暮らしの深刻さを聞き取りし社会にも告発しています。

1人の手記を紹介します。

A 生協の人です。週5日ダブルワークの人です。自営業をしていますが、商売が行き詰まって負債をかかえています。非正規同士の夫婦ですが両方で年収が390万円。国民年金の保険料を免除してもらっ厳しい生活をしています。そういう中で子どもを大学に通わせ奨学金を借りています。子どもたちも借金をしているきびしさがあります。

◆今年の春闘は

木口 実態はさまざまうかがいますが、春闘はいかがでしたでしょうか。北口 春闘は、まず賃上げ率の問題です。生協は経営が厳しいという状況から転じてはいますが、月給者の定期昇給は2500円程度で賃上げ率は1〜2%です。安倍首相は「最

低賃金を毎年3%以上引き上げ、2020年には全国平均時給1000円をめざす」としていますが、全国平均は848円。頑張らなくてはならないと思っています。

今年のたたかひのなかで、ストライキとか団体交渉に人を寄せて回答を引き出したのがB生協です。ほとんどすべての分会で議論ができ、分会で参加者を増やすことができたということでした。

◆消費税増税阻止へ全力

木口 消費税10%への増税については、運動方針案でも「世論と運動を強化する」と重視したたかひを提起しましたね。そして低所得者に負担が重くなる逆立ち税制からの脱却を訴えています。

北口 来年10月から実施ということですから、今から声を高めていくことにしたい。この夏から秋にかけて労使共同のとりくみや運動の広がりをつくっていききたいと思います。とりくみにあたっては、中小業者や業者団体との連携が必要だと考えています。